設計内容説明書【木造・共同住宅等】

評価対象建築物の名称	
評価対象建築物の所在地	
設計者等の氏名	
評価者氏名	

【住棟】

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書	設計内容確認欄
1 構造の安定※	1－1 耐震等級（倒壊等防止） ☐ 評価対象外	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	構造躯体及び基礎等	地震力及び風圧力	☐ 壁量計算による（階数が2以下の木造の建築物における基準） ☐ 壁量計算＋たて枠上下端の接合部の確認（枠組壁工法） ☐ 許容応力度計算による（ルート1） ☐ その他　（　　）	☐ 伏図 ☐ 計算書 ☐	
	1-2 耐震等級（損傷防止） ☐ 評価対象外 ☐ 選択しない	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1			基礎	☐ 建築基準法の規定による ☐ 許容応力度計算による ☐ スパン表　（　　） ☐ その他　（　　）		
	1－3 その他	☐ 免震 ☐ その他			横架材	☐ 許容応力度計算による ☐ スパン表　（　　） ☐ その他　（　　）		
					免震建築物	☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 ☐ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成		
	1－4 耐風等級 ☐ 選択しない	等級 ☐ 2 ☐ 1			認定書等活用	☐ 認定書等の活用（第四面に記入）		
	1－5 耐積雪等級 ☐ 該当区域外 ☐ 選択しない	等級 ☐ 2 ☐ 1		地盤（1－6）	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	・許容支持力等 ☐ 地盤［　　kN/㎡］ ☐ 杭［　　kN/本］	☐ 調査書 ☐	
	1－6地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	設計内容説明欄と同様				・地盤調査方法等 （　　）		
						☐ 地盤改良有 方法　（　　）		
						※ 杭状改良地盤　☐ 許容支持力度［　　kN/㎡］ ☐ 許容支持力［　　kN/本］		
	1－7基礎の構造方法及び形式等			基礎（1－7）	基礎の構造方法及び形式等	☐ 直接基礎　） ・ 基礎の構造方法　（　　） ・ 基礎の形式　（　　）	☐ 伏図 ☐	
						☐ 杭基礎　杭種　（　　） 杭径［　　cm］　杭長［　　m］		
2 火災に関する安全性※	2－5耐火等級（延焼の恐れのある部分・開口部） ☐ 該当なし ☐ 選択しない	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	開口部の耐火性能（耐火性能が最も低いもの）	防火設備の仕様等	・ 外壁の開口部の耐火性能 耐火時間　（☐ 60分以上　☐ 20分以上 ☐ その他　）	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐	
	2－6耐火等級（延焼の恐れのある部分・開口部以外） ☐ 該当なし ☐ 選択しない	等級 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	外壁・軒裏の構造（耐火性能が最も低いもの）	外壁の構造等	・ 外壁の耐火時間　（☐ 60分以上　☐ 45分以上 ☐ 20分以上　☐ その他　）	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐	
					軒裏の構造等	・ 軒裏の耐火時間　（☐ 60分以上　☐ 45分以上 ☐ 20分以上　☐ その他　）		

※：1-2、1-4、1-5、2-5、2-6の事項については、選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

【住棟】

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
3 劣化の軽減	3－1 劣化対策等級（構造躯体等）	等級 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	外壁の軸組等	外壁の構造等（地面から1ｍ）	□ 外壁通気構造等 □ 製材、集成材等又は構造用合板等＋薬剤処理（現場処理） □ 製材、集成材等＋小径13.5㎝ □ 製材、集成材等＋耐久性区分D1＋小径12.0㎝以上 □ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 □ K3以上の薬剤処理（工場処理） □ その他（　　）	□ 仕上表 □ 矩計図 □ 伏図等 □	
				土台	防腐・防蟻処理	□ 土台に接する外壁下端水切り □ K3以上の薬剤処理（工場処理） □ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 □ その他（　　）	□ 仕上表 □ 矩計図 □ 伏図等 □	
				浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	□ 浴室 □ 防水上有効な仕上げ □ 浴室ユニット □ 外壁軸組等の防腐措置等 方法：（　　） □ 脱衣室 □ 防水上有効な仕上げ □ 外壁軸組等の防腐措置等 方法：（　　）	□ 仕上表 □ 平面図 □	
				地盤	防蟻措置	・防蟻措置（□ 有 □ 対象区域外） □ べた基礎等 □ 土壌処理 □ その他 方法：（　　）	□ 矩計図 □	
				基礎高さ	基礎高さ	□ 地面から土台下端までの高さが400mm以上		
				床下防湿措置等	床下地盤面の防湿措置	□ 防湿方法〔□ コンクリート □ 防湿フィルム □ その他（　　）〕	□ 矩計図 □ 伏図等	
					床下換気措置	□ 換気措置〔□ 換気口 □ ねこ土台 □ その他〕 □ 基礎断熱工法	□	
				小屋裏換気	小屋裏換気の措置	・小屋裏の有無（□ 有 □ 無） ・小屋裏換気設置の有無（□ 有 □ 無）	□ 立面図 □	
				構造部材等		□ 建築基準法施行令第37条、第41条、第49条及び第80条の2の規定に適合	□ 仕上表 □ 伏図等	
				認定書等	認定書等活用	□ 認定書等の活用(第四面に記入)		

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

（第三面）

【住棟】

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書	設計内容確認欄
4 維持管理・更新への配慮	4－2 維持管理対策等級（共用配管） ☐ 該当なし	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	共用配管	コンクリート内埋込み配管	☐ すべての評価対象配管がコンクリート内に埋込まれていない	☐ 仕様書 ☐	
				地中埋設管	埋設管上のコンクリート打設	・ 地中埋設管上のコンクリート打設 （ ☐ 無 ☐ 土間コンその他のみ有 ☐ 対象区域外）	☐ 仕様書 ☐	
				共用排水管	排水管の清掃措置、掃除口の点検措置	・共用立管 ・掃除口の有無 ☐ 有 ☐ 無（15m以内等であること） ・掃除口の位置 ☐ 開口 ☐ 露出 ・横主管 ・掃除口の有無 ☐ 有 ☐ 無（10m以内であること） ・掃除口の位置 ☐ 開口 ☐ 露出	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図 ☐ ☐	
				排水管等の性状等（継手及びヘッダーを含む）	排水管等の内面	☐ 平滑である ☐ その他（ ）	☐ 仕様書 ☐	
					設置状態	☐ たわみ抜け等が生じないように設置 ☐ その他（ ）	☐ ☐	
				配管点検口	排水管と専用排水管の接合部	・接合部の位置 （ ） ・点検措置 ☐ 露出 ☐ 開口	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	
					給水管と専用排水管の接合部	・接合部の位置（ ） ・点検措置 ☐ 露出 ☐ 開口 ・バルブの位置（ ） ・点検措置 ☐ 露出 ☐ 開口	☐ ☐	
					給湯管と専用排水管の接合部	・接合部の位置（ ） ・点検措置 ☐ 露出 ☐ 開口 ・バルブの位置（ ） ・点検措置 ☐ 露出 ☐ 開口		
				横主管のピット内等の措置	排水管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内又は床下設置 ☐ 人通孔設置 ☐ その他 ☐ 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている	☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図	
					給水管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内又は床下設置 ☐ 人通孔設置 ☐ その他	☐ ☐	
					給湯管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内又は床下設置 ☐ 人通孔設置 ☐ その他	☐	
				配管補修の措置	排水管	☐ 露出 ☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー ☐ PS内 ☐ 共用部に面して補修用開口あり	☐ 平面図 ☐ 設備図	
					給水管	☐ 露出 ☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー ☐ PS内 ☐ 共用部に面して補修用開口あり	☐ ☐	
					給湯管	☐ 露出 ☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー ☐ PS内 ☐ 共用部に面して補修用開口あり	☐ ☐	
				認定書等	認定書等活用	☐ 認定書等の活用（第四面に記入）		

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

（第四面）

【住棟】

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書	設計内容確認欄
4 維持管理・更新への配慮	4－3 更新対策（共用排水管） ☐ 該当なし	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	共用排水管	埋め込み	☐ 共用排水管がコンクリート内に埋込まれていない	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐ ☐	
					地中埋設管	☐ 地中埋設管上のコンクリート打設等されていないこと		
					横主管	☐ ピット等の共用排水管は人が到達できること		
					位置	☐ 専用部分に立ち入らないで更新できる位置であること		
					コンクリート床等の貫通部 ☐ 適用	・共用排水管の切断工事を軽減する措置 ☐ 立管分割可能　☐ その他（　　） ・共用排水管のコンクリート床等の貫通部 ☐ 有　☐ 無 ・はつり工事を軽減する措置 ☐ 無　☐ ロックウール充填 ☐ その他（　　） ☐ 排水管の接続替えを容易に行うための措置あり ☐ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間が確保されている		
					新たな共用排水管の設置の余地 ☐ 適用	☐ 共用排水管の近傍に新たな共用排水管の設置スペース等 ・排水管を新設する空間　☐ 有　☐ 無 ・排水管を新設ためのスリーブ　☐ 有　☐ 無 ・専用排水管、横主管の接続替えができる空間、スリーブ ☐ 有　☐ 無 ☐ 排水管の接続替えを容易に行うための措置あり ☐ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間が確保されている		
					共用排水立管の設置位置	☐ 共用廊下に面する共用廊下 ☐ 外壁面、吹き抜け等の住戸外周部 ☐ バルコニー ☐ 住戸専用部 ☐ その他	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐ ☐	
				認定書等	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)		

―認定書等―

性能表示事項	種別	番号	認定書等添付状況
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式　☐ 認証　☐ 特認		☐ 添付　☐ 表紙のみ添付

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
4 維持管理・更新への配慮	4－1 維持管理対策等級（専用配管）	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	専用配管	コンクリート内埋込み配管	☐ すべての評価対象配管がコンクリート内に埋込まれていない	☐ 平面図 ☐	
				地中埋設管	埋設管上のコンクリート打設	・地中埋設管上のコンクリート打設 （☐ 無　☐ 土間コンその他のみ有　☐ 対象区域外）	☐ 配置図 ☐	
				排水管の性状等	内面の仕様	☐ 排水管内面が平滑である	☐ 仕上表 ☐	
					設置状態	☐ たわみ、抜け等が生じないよう設置		
				専用排水管	排水管の清掃措置	☐ 便所、その他水廻りに必要な清掃措置の確保	☐ 平面図 ☐	
				配管点検口	主要接合部等の点検措置	☐ 主要接合部等の点検措置等の確保	☐ 平面図 ☐	
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること	5－1 断熱等性能等級	等級 ☐ 7 ☐ 6 ☐ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	地域の区分		地域の区分（　）地域		
				適用する基準		☐ 性能基準 ☐ 住宅仕様基準（等級4）　☐ 誘導仕様基準（等級5）	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 建具表 ☐ 計算書 ☐	
				非住宅・住宅計算方法	外皮平均熱貫流率	☐ 外皮平均熱貫流率（U_A値） （　）（W/(m²・K)） ☐ U_A値の値を評価書に記載する　※1		
					冷房期の平均日射熱取得率	☐ 冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC} （　） ☐ η_{AC}値の値を評価書に記載する　※2		
				☐ 住宅仕様基準 ☐ 誘導仕様基準 ☐ チェックリスト※4による	外皮の熱貫流率の基準又は断熱材の熱抵抗値の基準	☐ 外皮の熱貫流率の基準の適合 ☐ 断熱材の熱抵抗値の基準に適合		
					開口部の断熱性能等	☐ 開口部の断熱性能等の基準に適合 ☐ 緩和措置有り ☐ 窓の断熱（2%緩和）　☐ 窓の日射（4%緩和）		
				認定書等活用		☐ 認定書等の活用（第四面に記入）		
				結露防止対策	結露の発生防止対策	☐ 防湿層の設置（繊維系断熱材等を使用する場合） ☐ 設置（　） ☐ 省略（　） ☐ 通気層の設置（外壁・屋根を断熱構造とする場合） ☐ 屋根　［☐ 有（　）　☐ 省略（　）］ ・防風層の設置 ☐ 外壁　［☐ 有（　）　☐ 省略（　）］ ・防風層の設置		
				認定書等活用		☐ 認定書等の活用（第四面に記入）		
	5－2 一次エネルギー消費量等級	等級 ☐ 6 ☐ 5 ☐ 4 ☐ 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	適用する基準		☐ 非住宅・住宅計算法 ☐ 住宅仕様基準（等級4）　☐ 誘導仕様基準（等級6）	☐ 仕上表 ☐ 計算書 ☐ 面積表 ☐ 平面図 ☐ 機器表 ☐ 系統図 ☐ カタログ	
				非住宅・住宅計算方法	外皮性能値	・外皮平均熱貫流率（UA値） ・冷房期の平均日射熱取得率（η_{AC}値） ・暖房期の平均日射熱取得率（η_{AH}値） ☐ 一次エネルギー消費量計算結果による		
					居室等の面積	・合計の床面積 ・主たる居室 ・その他の居室 ☐ 一次エネルギー消費量計算結果による		
					一次エネルギー消費量	・基準一次エネルギー消費量 ・設計一次エネルギー消費量 ☐ 一次エネルギー消費量計算結果による		
					設備機器等の仕様	☐ 一次エネルギー消費量計算結果による		
				☐ 住宅仕様基準 ☐ 誘導仕様基準 ☐ チェックリスト※4による	暖房設備	☐ 暖房方式及・暖房機器等の仕様等は設計図書による		
					冷房設備	☐ 冷房方式及・冷房機器等の仕様等は設計図書による		
					換気設備	☐ 換気機器の仕様等は設計図書による		
					照明設備	☐ 照明設備の仕様等は設計図書による		
					給湯設備	☐ 給湯熱源機器の種類等は設計図書による また、誘導仕様基準の場合、所定の省エネ対策を実施する		

※1：等級7の場合のみ明示することができる。（地域区分の8地域を除く。）　※2：等級7の場合のみ明示することができる。（地域区分の1、2、3及び4地域を除く。）

※3：等級6の場合のみ明示することができる。**※4：建築物省エネ法　木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック内の「省エネ基準又は誘導基準　適否チェックリスト」**

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法※1	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書	設計内容確認欄
2 火災時の安全	2－1 感知警報装置設置等級（自住戸火災時） □ 選択しない	等級 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	感知警報装置	感知部分の設置場所等	・基準に適合した感知部分の設置場所 □ 寝室　□ 居室　□ 台所等　□ 階段等 ・警報を行う部分 （□ 1mで70dB以上の警報音を1分継続可能　□ その他同等　） （□ 居室を有する各階設置　□ 階数が1　） （□ 150㎡毎設置　□ 350㎡毎設置　□ その他　） （□ ネットワーク化されている　）	□ 仕上表 □ 平面図 □	
	2－2 感知警報装置設置等級（自住戸火災時） □ 該当なし □ 選択しない	等級 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	感知警報装置	感知警報装置の種類等	感知器 ・種類　□ 共同住宅用自火報又は同等品 □ 住戸用自火報又は同等品　□ その他 ・設置場所　□ 当該階　□ 直下の階 ・接続等　□ 各戸に有効に接続　□ 戸外表示器有　□ その他 警報器 ・種類　□ 非常警報設備又は同等品　□ その他 ・設置場所　□ 当該階　□ 直下の階　□ その他 ・接続等　□ 各々が有効に接続	□ 仕上表 □ 平面図 □ □	
	2－3 避難安全対策（他住戸等火災時・共用廊下） □ 該当なし □ 選択しない	等級 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	排煙形式	排煙形式	□ 開放廊下　□ 自然排煙　□ 機械排煙（一般） □ 機械排煙（加圧式）　□ その他	□ 仕上表 □ 平面図 □ □	
				平面形状	平面形状	□ 通常の歩行経路による2以上の方向への避難が可能 □ 直通階段との間に他住戸がない　□ その他		
				耐火等級（開口部）	防火設備の耐火性能	・避難経路の隔壁の開口部耐火性能 □ 60分以上（等級3）　□ 20分以上　□ その他		
	2－4 脱出対策（火災時） □ 該当なし □ 選択しない	設計内容説明欄と同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	脱出対策	バルコニー及び避難器具	□ 直通階段に直接通ずるバルコニー □ 隣戸に通ずるバルコニー □ 避難器具　（□ 避難ロープ　□ 避難はしご　□ 避難用タラップ　□ 避難橋　□ 滑り棒　□ 滑り台　□ 緩降機　□ 救助袋） □ その他　（　）	□ 仕上表 □ 平面図 □	
	2－7 耐火等級（界壁及び界床） □ 該当なし □ 選択しない	等級 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	界壁及び界床の構造	界壁の構造等（耐火性能の最も低いもの）	・界壁の耐火時間　（□ 60分以上　□ 45分以上　□ 20分以上　□ その他　）	□ 仕上表 □ 矩計図 □ □	
					界床の構造等（耐火性能の最も低いもの）	・界床の耐火時間　（□ 60分以上　□ 45分以上　□ 20分以上　□ その他　）		
4 維持管理・更新への配慮	4－4 更新対策（住戸専用部） □ 選択しない	設計内容説明欄説明欄と同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	構造躯体	躯体天井高	・躯体天井高 （　）mm以上 □ 異なる躯体天井高が存する最も低い部分の躯体天井高 （　）mm以上 最も低い部分 □ はり　□ 傾斜屋根 □ その他　（　）	□ 平面図 □ 矩計図 □	
					住戸専用部の構造躯体の壁又は柱	・住戸専用部の構造躯体で間取り変更の障害となりうるもの □ 有　（□ 壁　□ 柱） □ 無	□ 矩計図 □ □	

※2-1、2-2、2-3、2-4、2-7、4-4は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
6 空気環境	6－1 ホルムアルデヒド対策（内装及び天井裏等）	設計内容説明欄と同様	□基準 □特認 □型式 □認証	居室の内装の仕上げ材	使用建材	・☑製材等 □特定建材 □その他の建材	□仕上表 □建材表 □	
					ホルムアルデヒド発散等級	・特定建材のうち最もﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散が大きい建材 □F☆☆☆☆（等級3） □F☆☆☆（等級2） □F☆☆（等級1）		
					□該当なし			
				天井裏等の下地材等	措置方法	・□換気又は気密措置による □使用建材による		
					使用建材	・□製材等 □特定建材 □その他の建材		
					ホルムアルデヒド発散等級	・特定建材のうち最もﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散が大きい建材 □F☆☆☆☆（等級3） □F☆☆☆（等級2）		
	□選択しない				□該当なし			
	6－2 換気対策	設計内容説明欄と同様	□基準 □特認 □型式 □認証	換気対策	種類	・□機械換気設備 □その他	□平面図 □	
				局所換気対策	便所	・機械換気設備の有無（□有 □無）	□平面図 □	
					□該当なし	・換気のできる窓の有無（□有 □無）		
					浴室	・機械換気設備の有無（□有 □無）		
					□該当なし	・換気のできる窓の有無（□有 □無）		
					台所	・機械換気設備の有無（□有 □無）		
					□該当なし	・換気のできる窓の有無（□有 □無）		
	□選択しない							
7 光・視環境	7－1 単純開口率	設計内容説明欄と同様	□基準 □特認 □型式 □認証	居室床面積に対する開口部の割合		・単純開口率（　%以上）	□平面図 □建具表 □	
	□選択しない							
	7－2 方位別開口比			方位別開口部の面積合計の比		北面（　%以上） 東面（　%以上） 南面（　%以上） 西面（　%以上） 真上（　%以上）		
	□選択しない							

※6-1、6-2、7-1、7-2は選択項目となる。

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
6 空気環境	6－2 換気対策	設計内容説明欄と同様	□基準 □特認 □型式 □認証	換気対策	種類	・□機械換気設備 □その他	□平面図 □	
				局所換気対策	便所	・機械換気設備の有無（□有 □無）	□平面図 □	
					□該当なし	・換気のできる窓の有無（□有 □無）		
					浴室	・機械換気設備の有無（□有 □無）		
					□該当なし	・換気のできる窓の有無（□有 □無）		
					台所	・機械換気設備の有無（□有 □無）		
					□該当なし	・換気のできる窓の有無（□有 □無）		
	□選択しない							
7 光・視環境	7－1 単純開口率	設計内容説明欄と同様	□基準 □特認 □型式 □認証	居室床面積に対する開口部の割合		・単純開口率（　%以上）	□平面図 □建具表 □	
	□選択しない							
	7－2 方位別開口比			方位別開口部の面積合計の比		北面（　%以上） 東面（　%以上） 南面（　%以上） 西面（　%以上） 真上（　%以上）		
	□選択しない							

※6-1、6-2、7-1、7-2は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
6 空気環境	6－2 換気対策	設計内容説明欄と同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	換気対策	種類	・□ 機械換気設備 □ その他	□ 平面図 □	
	□ 選択しない			局所換気対策	便所 □ 該当なし	・機械換気設備の有無 （□ 有 □ 無） ・換気のできる窓の有無 （□ 有 □ 無）	□ 平面図 □	
					浴室 □ 該当なし	・機械換気設備の有無 （□ 有 □ 無） ・換気のできる窓の有無 （□ 有 □ 無）		
					台所 □ 該当なし	・機械換気設備の有無 （□ 有 □ 無） ・換気のできる窓の有無 （□ 有 □ 無）		
7 光・視環境	7－1 単純開口率 □ 選択しない	設計内容説明欄と同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	居室床面積に対する開口部の割合		・単純開口率 （ %以上）	□ 平面図 □ 建具表 □	
	7－2 方位別開口比 □ 選択しない			方位別開口部の面積合計の比		北面（ % 以上） 東面（ % 以上） 南面（ % 以上） 西面（ % 以上） 真上（ % 以上）		

※6-2、7-1、7-2は選択項目となる。

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
6 空気環境	6－2 換気対策	設計内容説明欄と同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	換気対策	種類	・□ 機械換気設備 □ その他	□ 平面図 □	
	□ 選択しない			局所換気対策	便所 □ 該当なし	・機械換気設備の有無 （□ 有 □ 無） ・換気のできる窓の有無 （□ 有 □ 無）	□ 平面図 □	
					浴室 □ 該当なし	・機械換気設備の有無 （□ 有 □ 無） ・換気のできる窓の有無 （□ 有 □ 無）		
					台所 □ 該当なし	・機械換気設備の有無 （□ 有 □ 無） ・換気のできる窓の有無 （□ 有 □ 無）		
7 光・視環境	7－1 単純開口率 □ 選択しない	設計内容説明欄と同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	居室床面積に対する開口部の割合		・単純開口率 （ %以上）	□ 平面図 □ 建具表 □	
	7－2 方位別開口比 □ 選択しない			方位別開口部の面積合計の比		北面（ % 以上） 東面（ % 以上） 南面（ % 以上） 西面（ % 以上） 真上（ % 以上）		

※6-2、7-1、7-2は選択項目となる。

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
6 空気環境	6－2 換気対策	設計内容説明欄と同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	換気対策	種類	・□ 機械換気設備 □ その他	□ 平面図 □	
	□ 選択しない			局所換気対策	便所 □ 該当なし	・機械換気設備の有無 （□ 有 □ 無） ・換気のできる窓の有無 （□ 有 □ 無）	□ 平面図 □	
					浴室 □ 該当なし	・機械換気設備の有無 （□ 有 □ 無） ・換気のできる窓の有無 （□ 有 □ 無）		
					台所 □ 該当なし	・機械換気設備の有無 （□ 有 □ 無） ・換気のできる窓の有無 （□ 有 □ 無）		
7 光・視環境	7－1 単純開口率 □ 選択しない	設計内容説明欄と同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	居室床面積に対する開口部の割合		・単純開口率 （ %以上）	□ 平面図 □ 建具表 □	
	7－2 方位別開口比 □ 選択しない			方位別開口部の面積合計の比		北面（ % 以上） 東面（ % 以上） 南面（ % 以上） 西面（ % 以上） 真上（ % 以上）		

※6-2、7-1、7-2は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法※1	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	設計内容説明欄 記載図書	設計内容確認欄
8 音環境	8－1 重量床衝撃音対策 ☐ 対策等級 ■ 相当スラブ厚(cm)	最高 ☐ 27 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 11 ☐ 他 最低 ☐ 27 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 11 ☐ 他	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	上階階床 ☐ なし	床構造等（最高）	・スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様(相当ｽﾗﾌﾞ厚、11cm) ☐ その他の床構造　（　）	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 詳細図 ☐ ☐ ☐ ☐	
					床仕上げ構造（最高）	・床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材　（　）		
					床構造等（最低）	・スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様(相当ｽﾗﾌﾞ厚、11cm) ☐ その他の床構造　（　）		
					床仕上げ構造（最低）	・床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材　（　）		
				認定書等	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)		
		最高 ☐ 27 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 11 ☐ 他 最低 ☐ 27 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 11 ☐ 他	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	下階階床 ☐ なし	床構造等（最高）	・スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様(相当ｽﾗﾌﾞ厚、11cm) ☐ その他の床構造　（　）		
					床仕上げ構造（最高）	・床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材　（　）		
					床構造等（最低）	・スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様(相当ｽﾗﾌﾞ厚、11cm) ☐ その他の床構造　（　）		
					床仕上げ構造（最低）	・床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材　（　）		
				認定書等	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第九面に記入)		
	8－2 軽量床衝撃音対策 ☐ 対策等級 ■ 低減量(dB)	最高 ☐ 30 ☐ 25 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 他 最低 ☐ 30 ☐ 25 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 他	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	上階階床 ☐ なし	床構造等（最高）	・スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様(相当ｽﾗﾌﾞ厚、11cm) ☐ その他の床構造　（　）	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 詳細図 ☐ ☐ ☐ ☐	
					床仕上げ構造（最高）	・床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材　（　）		
					床構造等（最低）	・スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様(相当ｽﾗﾌﾞ厚、11cm) ☐ その他の床構造　（　）		
					床仕上げ構造（最低）	・床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材　（　）		
				認定書等	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)		
		最高 ☐ 30 ☐ 25 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 他 最低 ☐ 30 ☐ 25 ☐ 20 ☐ 15 ☐ 他	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	下階階床 ☐ なし	床構造等（最高）	・スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様(相当ｽﾗﾌﾞ厚、11cm) ☐ その他の床構造　（　）		
					床仕上げ構造（最高）	・床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材　（　）		
					床構造等（最低）	・スラブの種類・厚さ ☐ 評価基準の木造の床構造仕様(相当ｽﾗﾌﾞ厚、11cm) ☐ その他の床構造　（　）		
					床仕上げ構造（最低）	・床仕上げ材 ☐ 評価基準の床仕上げ材の基準に適合 ☐ その他の仕上げ材　（　）		
				認定書等	認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第四面に記入)		

※8-1、8-2は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
8 音環境	8－3 透過損失等級（界壁） □ 該当なし	等級 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	界壁の遮音性能	界壁の構造・仕様（最も性能の低いもの）	□ 木造下地＋石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5㎜二重張り(両面)＋グラスウール25㎜以上 □ 木造下地＋石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5㎜二重張り(両面)＋ロックウール25㎜以上 □ その他（　　）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □ 詳細図	
					付帯条件	□ 建築基準法第30条の規定に適合		
				認定書等	認定書等活用	□ 認定書等の活用（第四面に記入）		
	8－4 透過損失等級（外壁開口部） □ 該当無し（北） □ 該当無し（東） □ 該当無し（南） □ 該当無し（西）	北面 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	開口部の遮音性能	北の方位のサッシ・ﾄﾞｱｾｯﾄ（遮音性能が最低のもの）	□ JISの遮音等級表示品（　　） □ その他試験を行うもの 試験実施機関名称（　　） 透過損失の平均値（　　dB）	□ 仕上表 □ 建具表 □	
		東面 □ 3 □ 2 □ 1			東の方位のサッシ・ﾄﾞｱｾｯﾄ（遮音性能が最低のもの）	□ JISの遮音等級表示品（　　） □ その他試験を行うもの 試験実施機関名称（　　） 透過損失の平均値（　　dB）		
		南面 □ 3 □ 2 □ 1			南の方位のサッシ・ﾄﾞｱｾｯﾄ（遮音性能が最低のもの）	□ JISの遮音等級表示品（　　） □ その他試験を行うもの 試験実施機関名称（　　） 透過損失の平均値（　　dB）		
		西面 □ 3 □ 2 □ 1			西の方位のサッシ・ﾄﾞｱｾｯﾄ（遮音性能が最低のもの）	□ JISの遮音等級表示品（　　） □ その他試験を行うもの 試験実施機関名称（　　） 透過損失の平均値（　　dB）		

※8-3、8-4は選択項目となる。

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
8 音環境	8－3 透過損失等級（界壁） □ 該当なし	等級 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	界壁の遮音性能	界壁の構造・仕様（最も性能の低いもの）	□ 木造下地＋石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5㎜二重張り(両面)＋グラスウール25㎜以上 □ 木造下地＋石膏ﾎﾞｰﾄﾞ12.5㎜二重張り(両面)＋ロックウール25㎜以上 □ その他（　　）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □ 詳細図	
					付帯条件	□ 建築基準法第30条の規定に適合		
				認定書等	認定書等活用	□ 認定書等の活用（第四面に記入）		
	8－4 透過損失等級（外壁開口部） □ 該当無し（北） □ 該当無し（東） □ 該当無し（南） □ 該当無し（西）	北面 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	開口部の遮音性能	北の方位のサッシ・ﾄﾞｱｾｯﾄ（遮音性能が最低のもの）	□ JISの遮音等級表示品（　　） □ その他試験を行うもの 試験実施機関名称（　　） 透過損失の平均値（　　dB）	□ 仕上表 □ 建具表 □	
		東面 □ 3 □ 2 □ 1			東の方位のサッシ・ﾄﾞｱｾｯﾄ（遮音性能が最低のもの）	□ JISの遮音等級表示品（　　） □ その他試験を行うもの 試験実施機関名称（　　） 透過損失の平均値（　　dB）		
		南面 □ 3 □ 2 □ 1			南の方位のサッシ・ﾄﾞｱｾｯﾄ（遮音性能が最低のもの）	□ JISの遮音等級表示品（　　） □ その他試験を行うもの 試験実施機関名称（　　） 透過損失の平均値（　　dB）		
		西面 □ 3 □ 2 □ 1			西の方位のサッシ・ﾄﾞｱｾｯﾄ（遮音性能が最低のもの）	□ JISの遮音等級表示品（　　） □ その他試験を行うもの 試験実施機関名称（　　） 透過損失の平均値（　　dB）		

※8-3、8-4は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
9 高齢者等への配慮	9－1 高齢者等配慮対策等級（専用部分） □ 選択しない	等級 □ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	部屋の配置等	特定寝室の位置	・特定寝室（　階、室名：　） ・基準に適合したホームエレベーター（□ 有 □ 無） □ 特定寝室と同一階に配置すべき室等の基準に適合	□ 平面図 □	
				段差	日常生活空間内	□ 日常生活空間内の床が段差のない構造 ・適用除外の段差 □ 玄関出入口 □ 玄関上りかまち □ 浴室出入口 □ その他の段差（　）	□ 平面図 □	
					日常生活空間外	□ 日常生活空間外の床が段差のない構造		
				階段 □ 階段無	勾配等	□ 階段の勾配等の基準に適合	□ 平面図 □	
					蹴込み	□ 蹴込みが30mm以下 ・蹴込み板の設置（□ 有 □ 無）		
					形式等	・回り階段等の設置（□ 有 □ 無） ・通路等への食い込み、突出（□ 有 □ 無） ・最下段の通路等への突出（□ 有 □ 無）		
					滑り防止	・滑り止め（□ 無 □ 有、踏面と同一面）		
					段鼻	・段鼻の出（□ 有 □ 無）		
					階段の幅員	□ 必要な階段幅員の確保		
				手摺	手摺の設置	□ 階段 □ 便所 □ 浴室 □ 玄関（□ 設置準備） □ 脱衣室（□ 設置準備）	□ 平面図 □	
					転落防止手摺の設置	□ バルコニー（□ 手すりの設置 □ 転落のおそれなし） □ 窓（２階以上）（□ 手すりの設置 □ 転落のおそれなし） □ 廊下及び階段 （□ 開放なし □ 手すりの設置 □ 転落のおそれなし）		
				通路等の幅員（日常生活空間内）	通路の幅員	□ 通路幅員の基準に適合	□ 平面図 □	
					出入口の幅員	□ 玄関・浴室出入口の幅員の基準に適合 □ 玄関・浴室以外出入口の幅員の基準に適合 （□ 工事を伴わない撤去等 □ 軽微な改造）		
				寝室、便所及び浴室（日常生活空間内）	浴室の寸法	□ 内法面積、短辺寸法の基準に適合	□ 平面図 □	
					便所の寸法等	□ 内法寸法の基準に適合 □ 便器と壁の距離の基準に適合 □ ドアの開放により確保 □ 軽微な改造により確保 □ 工事を伴わない撤去等により確保 □ 腰掛け式便器を設置		
					特定寝室面積	□ 特定寝室の内法面積の確保		

※9-1は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	性能表示事項	自己評価結果	評価方法※1	確認項目	設計内容説明欄 項目	設計内容	記載図書	設計内容確認欄
9 高齢者等への配慮	9－2 高齢者等配慮対策等級（共用部分） □ 該当なし	等級 □ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	共用廊下	幅員	・有効幅員 （　　mm）	□ 仕様書 □ 平面図 □ 矩計図 □ □	
					歩行補助手すり	□ 片面設置　□ 無 ・床面からの高さ		
					外部開放廊下の転落防止用手すり	・転落防止措置の床からの高さ　（　　mm） □ 手すりかべ　□ さく　□ 金網　・手摺の内法寸法 ・手摺の内法寸法　□ 110mm以下		
					床の段差	□ 段差なし ・高低差　□ 無　□ 有　（　　mm） ・高低差が生じる場合の構造　勾配　（　　mm） □ 傾斜路(勾配1/12以下)と段の併設 □ 傾斜路(勾配1/15以下)の設置 □ 傾斜路(勾配1/8以下)の設置(高低差80㎜以下のみ) ・傾斜路の構造 手摺　（□ 両側設置　□ 片側設置　□ 無 手摺の床からの高さ　（　　mm） 有効幅員　（　　mm） ・段の構造 共用階段（等級　の規定適用）		
				共用階段	幅員	・有効幅員 （　　㎜）	□ 仕様書 □ 平面図	
					勾配等	・けあげ　（　　㎜）　・踏面　（　　㎜） ・勾配　（　　／　　）	□ □	
					蹴込み	・蹴込み寸法　（　　㎜） ・蹴込み板の有無　□ 無　□ 有		
					形式等	・階段の形式 □ 踊り場付折れ階段　□ 直階段　□ その他 ・最上段の通路等への食い込み　□ 無　□ 有 ・最下段の通路等への突出　□ 無　□ 有		
					昇降補助手摺	□ 両側設置　□ 片側設置　□ 無 ・段鼻からの高さ　（　　㎜）		
					滑り防止	・滑り止め　□ 有　□ 無（踏面と同一面）		
					段鼻	・段鼻の出　□ 有　□ 無		
					転落防止用手すり（外部開放階段）	・腰壁の高さ　（　　㎜） ・手摺の高さ　□ 踏面より　□ 腰壁より（　　㎜） ・手摺の内法寸法　□ 110mm以下		
					手すり	□ 無　□ 有　踏面の先端からの高さ（　　㎜）		
				エレベーター	利用方法	・住戸位置　□ 無　□ 有 ・エレベーター設置　□ 無　□ 有	□ 仕様書 □ 平面図	
					仕様	・出入口の有効幅員（　　㎜） ・かごの奥行き寸法（　　㎜）	□ □	
					ホールの広さ	・エレベーターホールの寸法 （　　㎜ ×　　㎜）		

※9-2は選択項目となる。

設計内容説明書【木造・共同住宅等】

【住宅の出入りが、接地階の住戸】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	10－1 開口部の 侵入防止対策	設計 内容 説明 欄と 同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	1 階	区分及び措置	・区分a	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	□ 平面図 □ 立面図 □
						・区分b	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分c	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
				□ 2 階	区分及び措置	・区分a	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分b	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分c	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
				□ 3 階	区分及び措置	・区分a	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分b	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分c	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	

【住宅の出入りが、接地階以外の住戸】

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	10－1 開口部の 侵入防止対策	設計 内容 説明 欄と 同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	階	区分及び措置	・区分a	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	□ 平面図 □ 立面図 □
						・区分b（ｉ）	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分b（ii）	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分c	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
				□ 階	区分及び措置	・区分a	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分b（ｉ）	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分b（ii）	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分c	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	

住戸番号・住戸タイプ・住戸グループ	

	10－1 開口部の 侵入防止対策	設計 内容 説明 欄と 同様	□ 基準 □ 特認 □ 型式 □ 認証	階	区分及び措置	・区分a	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	□ 平面図 □ 立面図 □
						・区分b（ｉ）	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分b（ii）	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分c	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
				□ 階	区分及び措置	・区分a	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分b（ｉ）	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分b（ii）	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	
						・区分c	□ 侵入防止上有効な措置（ □ 雨戸等による対策） □ その他 □ 該当する開口部無し	